

大学入学式 新たな誓い

■静岡理工科大

静岡理工科大(袋井市豊沢)の入学式が四日、学内の体育館であり、理工学部と情報学部(計三百九十三

人)、大学院(十二人)の計四百五人がスタートを切った。

同大学は本年度、県内の大学で初めての建築学科を理工学部に設置。六十八人(男子五十七人、女子十一人)が一期生として入学した。

野口博学長が式辞で「『何を創るのか、なぜ創るのか、何を創ってはいけないのか』の視点を大切に。社会人の基礎力を自ら意識的に育んで下さい」と述べた。

袋井市の原田英之市長が「袋井の地でやрмаいか精神を身に付けていただき、地元開催



新入生を代表して野口博学長(右)に宣誓する市川亜美さん(左) 袋井市の静岡理工科大学で